

講演者-----

森田泰弘（独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA） 宇宙科学研究所 教授）



講演タイトル-----

イプシロンロケットの挑戦

講演要旨-----

我が国の固体ロケット技術は、「はやぶさ」のような小惑星探査機を打ち上げるなど世界でも最高性能を誇ってきました。

これをさらに発展させ、我々はイプシロン開発を通して、世界一の運用性（短期間、少人数、小さな設備での打ち上げ）を目指しています。

その一例が、人工知能 を活用した自律点検やモバイル管制です。

これはロケット開発の常識を覆す革命であり、これからは性能ばかりでなく打ち上げシステムのシンプル性でも世界をリードしていこうというのが我々の合言葉です。

まさに世界一から世界一への挑戦とも言えるイプシロンロケットの開発から打ち上げまでをお話いたします。

略歴-----

森田泰弘(もりた やすひろ)

1958 年東京都生まれ。1982 年東京大学工学部航空学科卒業。1987 年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。1988 年から 2 年間、カナダ・ブリテッシュ・コロンビア大学客員研究員として宇宙ステーション用ロボットアームの研究に従事。

1990 年旧文部省宇宙科学研究所(現 JAXA)システム研究系助手。同年スタートの M-V ロケット開発(主にシステム設計、誘導制御系)を主導する。2003 年 7 月から宇宙科学

研究所教授、同年 10 月から M-V ロケットプロジェクトマネージャー(開発責任者)を兼務し、JAXA 統合後の同ロケットの打ち上げを指揮。引き続き、イプシロンロケットプロジェクトマネージャーとして我が国の固体ロケット開発をリードするとともに、飛翔工学研究系教授として研究教育に従事。専門はシステムと制御。